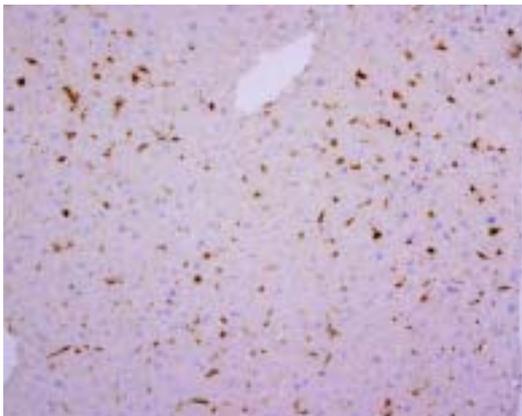


## 抗ラット マクロファージ / 樹状細胞 モノクローナル抗体 (Clone No. RM-4)

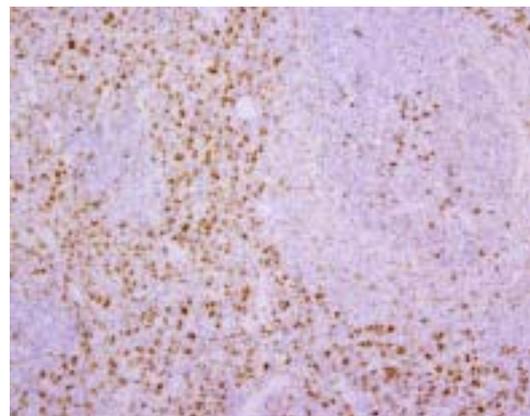
RM-4 は、ラットマクロファージ / 樹状細胞に特異的な抗体で、ラット肺の肉芽腫のホモジネートを免疫原として作成されました。免疫組織化学的な検討の結果、本抗体は多くの臓器・組織において、マクロファージ / 樹状細胞のエンドソームおよびリソソームの膜表面に存在する分子量 46kDa の蛋白質と反応することが確認されています。

従って、マクロファージ / 樹状細胞の同定だけでなく、エンドソームやリソソームの識別にも有用です。また、凍結切片でもパラフィン包埋切片同様の反応性を示すことが確認されており、広い用途でお使い頂けます。

容量	50 $\mu$ g (200 $\mu$ L/vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	- 20 $^{\circ}$ C 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 $^{\circ}$ C で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	RM-4
サブクラス	IgG1
製造方法	ラット肺肉芽腫のホモジネートで免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ NS-1 を融合して得たハイブリドーマを BALB/c マウス腹腔内で増殖させ、腹水を採用。採取した腹水より Protein G アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	組織染色: 10 $\mu$ g/mL (凍結切片およびパラフィン切片)



ラット肝臓(凍結切片): クッパー細胞が陽性反応を示す



ラット脾臓(凍結切片): 赤脾髄と白脾髄のマクロファージが陽性反応を示す

提供 竹屋元裕 教授 熊本大学医学部病理学第二講座

提供 竹屋元裕 教授 熊本大学医学部病理学第二講座

## 抗ラット マクロファージ / 樹状細胞 モノクローナル抗体 (Clone No. RM-4)

**【特異性】**

器官 / 組織	陽性細胞
脾臓	赤脾髄マクロファージ 白脾髄 核片貪食マクロファージ 動脈周囲リンパ鞘の IDCs 辺縁帯マクロファージ
リンパ節	濾胞内核片貪食マクロファージ 傍皮質 IDCs (*) 洞内マクロファージ
胸腺	皮質、髄質のマクロファージ 髄質 IDCs
肺	肺胞マクロファージ 肺胞壁内マクロファージ
大網	マクロファージ
パイエル板	濾胞内マクロファージ 濾胞間の樹状細胞
皮膚	ランゲルハンス細胞 真皮マクロファージ
脳	ミクログリア クモ膜下腔のマクロファージ 脈管周囲のマクロファージ
結合組織	マクロファージ
腹腔	腹腔マクロファージ

(\*) IDCs=指状嵌入細胞

**【参考文献】**

1. Iyonaga K., Takeya M., Yamamoto T., Ando M., Takahashi K. (1997) A novel monoclonal antibody, RM-4, specifically recognizes rat macrophages and dendritic cells in formalin-fixed, paraffin-embedded tissues. *Histochem J.* 29(2):105-116

**製造元**


〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

 URL:<http://www.transgenic.co.jp>    [techstaff@transgenic.co.jp](mailto:techstaff@transgenic.co.jp)